

NPOで高校生の 夏ボラ体験

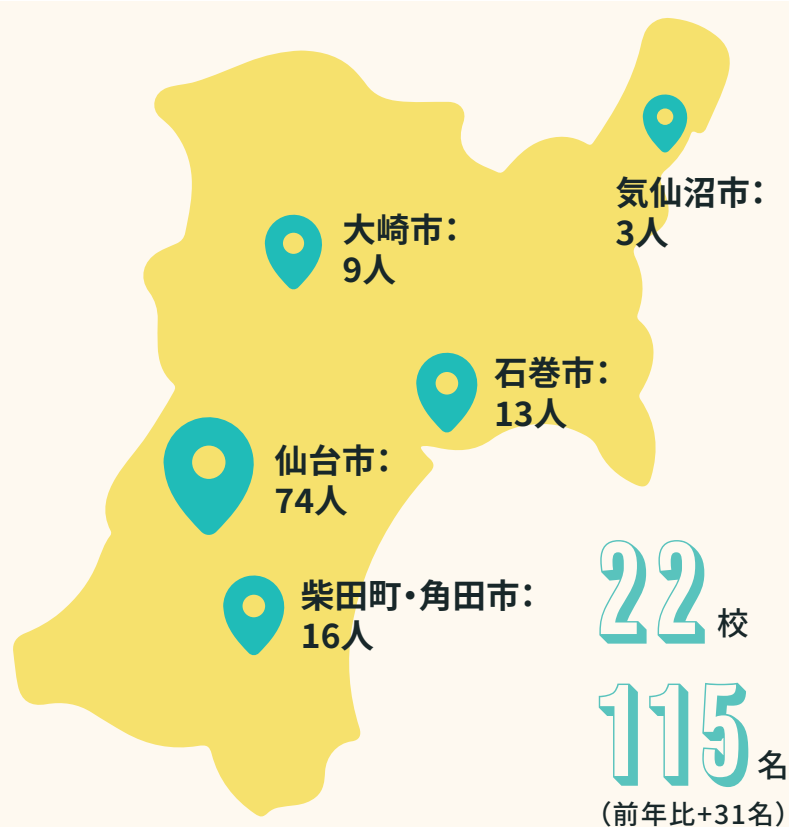


2003年から始めた夏ボラも今年で20回目を迎えました。社会貢献団体かほく「108」クラブと共催し、学校や参加NPOのご協力、またたくさんの方々からご支援を受け、開催することができました。夏ボラという“きっかけ”を通じて関わる人たちは何を得るのか？次世代の担い手育成や地域連携の可能性が詰まった活動成果をご覧ください。

Annual Report

2023年度 開催報告

2023年度は、宮城県内の高校生115名が宮城県内で活動するNPO24団体でボランティア体験をしました。参加高校生は前年比30人以上増え、各分野のNPOと多くの接点を作り出したことは大きな成果となりました。昨年度大崎地域のNPOが受け入れを再開することとなり、今年はその繋がりを活かし、受け入れNPOを増やすことにもつながり、コロナ禍以降、高校生からの夏ボラ参加ニーズはより一層高まり、応募総数は155名に及びました。



普段、学校と家、先生と友達・家族間での関わりが多い高校生にとって、夏ボラは学校生活の外で起きていることに目を向けるきっかけになり、その後の価値観に大きな影響をもたらします。各NPOで実際に地域課題にふれる経験を経て、地域で今起きていることとその課題解決に取り組むNPOの存在を知ることにつながります。これまでのアンケートからは、高校生のその後の価値観や進路にも大きな影響を与えることが分かっています。

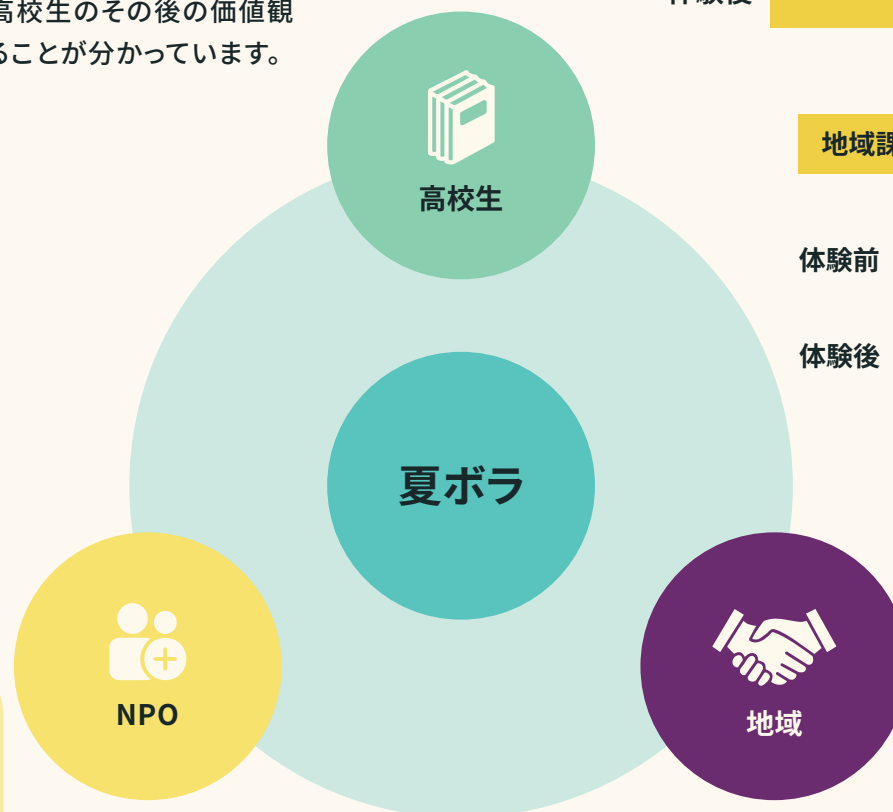


高校生の「変化」を生み出すには、受け入れるNPO側にも高いスキルが求められます。普段NPOや社会課題を知る機会のない高校生に、活動を理解してもらうのはとても難しいことです。しかし団体の皆さんは高校生の視点に立ち、活動や複雑な地域課題をいかにわかりやすく伝えるか、高校生を安全に受け入れるにはどうするか、など毎年試行錯誤して夏ボラに参加しています。結果的に、夏ボラ以外でも、活動に共感するボランティアや協力者の信頼を得ることに繋がっています。

参加団体の声

活動を立ち止まって振り返るきっかけになり、スタッフ間の意識の高まりを感じる事ができた。

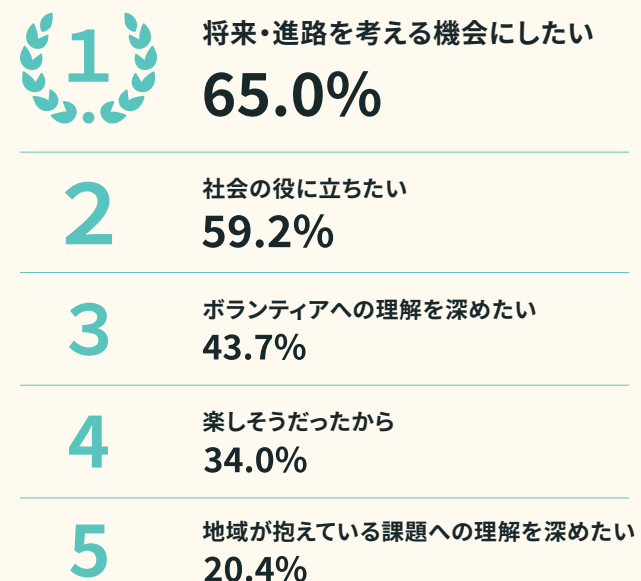
高校生の感想を聞くことで私たち自身を客観的に見る機会となり、身の引き締まる思いがした。若い世代の方々とのつながりができた。



夏ボラは、学校・行政・企業・NPOが連携し、実施しています。申込の際には、学校の先生の協力を得ており、また開催にあたり共催のかほく108クラブからの応援を始め、社会貢献団体、個人によるモノや時間、寄付金による協力関係(=地域で支え合う力)が生まれています。

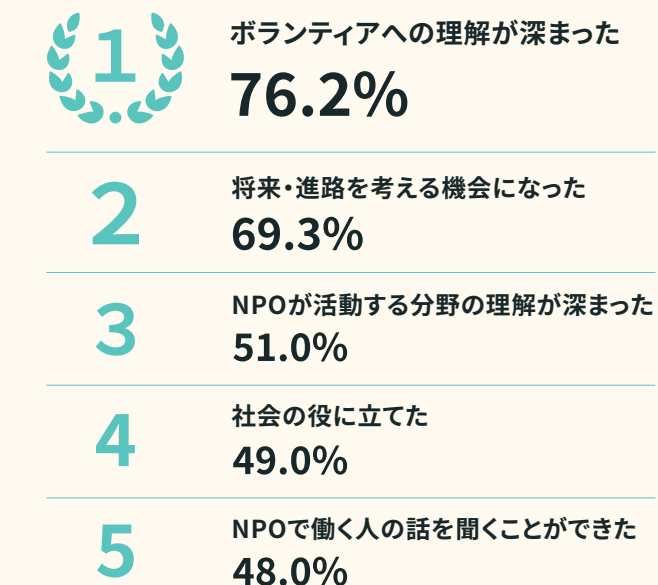
体験前

Q.なぜ夏ボラに参加しましたか？



体験後

Q.夏ボラでどのようなことを得ましたか？



体験前後比較アンケート

NPOが活動する分野の理解を深めたい/深まった

体験前 16.5%

体験後 51.0%

実際にNPOの活動現場に出向くことで、NPOの活動理念への理解が深まったと考えられます。自由回答でも、「身近にNPOがたくさんあって私たちの生活を支えてくれていたということに気づけた」「地域は思っていた以上に繋がりが深いということに気づいた」など、高校生の身の回りや生活の一部に、NPOが存在していることへの理解を深めた様子が伺えました。

地域課題への理解を深めたい/深まった

体験前 20.4%

体験後 40.8%

「体験後」に「地域の課題への理解が深まった」と回答した高校生の割合は、「体験前」の期待を上回る結果となりました。自由回答では「シニアが集まって交流する場をもっと増やしていくべき」「子どもたちが自由に遊べる場が少ない」「共働き家庭が気軽に子どもを預けられる施設が知られていない」など、具体的な課題とその解決策を考えた人もいました。

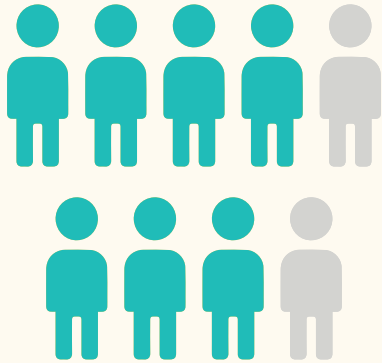


事業案内ページ

“意志ある全ての高校生に夏ボラ体験を届けたい!”

夏ボラの体験希望者は年々増えているにもかかわらず、運営資金の課題により今年は155名の応募のうち、40名もの高校生をお断りせざるを得ませんでした。希望する全ての高校生に夏ボラ体験の機会を届けるべく、運営資金の応援をお願いいたします。

4人のうち1人が参加できていない



応募者全員が参加できる!



運営資金があれば...

過去の参加者の声

D.S.さん

2010～2012年参加・養護学校教諭

“3年連続参加した夏ボラは人生の分岐点となった。大学ではボランティアサークルに入り、知的障害を持つ子と接したことが現職に繋がっている。”

A.S.さん

2016～2017年参加・国際関係を学ぶ大学生

“夏ボラがきっかけで、もっと研究したいと思い進学先を選んだ。夏ボラがなかったら、何に関心を持っていたんだろうというくらい大きな体験だった。”

のべ参加者数:

2345人



過去17年間の
ふりかえり調査報告書

これまでご支援いただいている皆様:

真如苑様、桐澤洋事務所様、その他多くの
皆様よりご寄付をいただきました。

寄付で応援する

当法人は認定NPO法人です。

認定NPO法人へのご寄付は、税制優遇(寄付控除)の対象となります。

郵便振替またはクレジットカード決済のいずれも、「夏ボラ指定寄付」の旨をご明記ください。

本事業の運営に大切に活用させていただきます。

[郵便振替]

口座番号:02250-0-43800

加入者名:特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327 email:npo@yururu.com

クレジットカード
の方はこちらから



website



facebook